

取扱説明書

2026-04 初版

型式

LC-KS01



同梱部品	個数
本体取付用 皿タッピンネジ	2本
プラグ	2個
解錠用キー(ディンプル仕様)	3本
ネジ穴隠しシリコン部品	2個
タンパースイッチ高さ調整用部品	1個
ゴムパッキン	1枚
取扱説明書	1部



本製品は、電磁錠の緊急解錠を目的としたキースイッチです。
 非常時における解錠操作に使用する機器であり、常用操作には使用しないでください。
 配線作業は、必ず電源を遮断した状態で行ってください。
 設置時は、ゴムパッキンにより内部への浸水を抑制します。
 ただし、防水性能は施工状態および設置環境に依存するため、
 必要に応じて上部および左右三方向にコーキング処理を施してください。
 ゴムパッキンを使用しない場合は、コーキング処理を前提として屋外に設置してください。
 ご使用前に本書の内容を十分にご理解のうえ、正しく設置・ご使用ください。



設置条件および設置上の注意

【設置環境】

- ・直射日光の当たらない場所に設置すること。
(樹脂製のため、温度変化や直射日光の影響により外蓋の開閉が重くなる場合がある)
- ・腐食性ガス・可燃性ガスの発生する場所には設置しないこと。
- ・振動のある場所、薬品に触れる恐れのある場所、火気付近には設置しないこと。
- ・高湿度環境または水が直接かかる環境では、適切な防滴対策を講じること。

【設置位置・防水】

- ・第三者による不正操作や破壊行為を受けにくい位置に設置すること。
- ・緊急時に速やかに操作可能な位置に設置すること。
- ・設置方向は垂直方向とすること。

- ・本製品はゴムパッキン装着により浸水を抑制する構造(IPX4相当)である。
- ・防水性能は施工状態および設置環境に依存するため、性能を保証するものではない。
- ・屋外設置時は、設置環境に応じて、上部および左右三方向にコーキング処理を施すこと。
- ・コーキング処理は、配線通線部および取付面との隙間が生じないように確実に施工すること。
- ・防水パッキンが密着していない場合や、コーキング処理が不十分な場合、浸水の原因となる。
- ・雨水や結露の影響が想定される場合は、防水ボックス等の併用を検討すること。

使用上の注意

- ・本製品は非常時の緊急解錠を目的とした機器であり、常用操作用途には使用しないこと。
- ・本製品は無電圧接点出力であり、接点定格内においてDC電源回路(電磁錠等)の開閉に使用すること。
- ・AC100V等の高電圧回路の直接開閉には使用しないこと。
- ・接点定格を超える負荷を接続した場合、接点の焼損や故障の原因となる。
- ・操作終了後は鍵を抜き、必ず外蓋を閉じた状態とすること。
- ・鍵を差し込んだままの放置、または蓋を開放したままでの運用は行わないこと。
- ・外蓋を閉める際は、防水パッキンを密着させるため、蓋を押さえた状態でコイン式カムロックを操作し、確実に施錠すること。
- ・分解・改造は行わないこと。
- ・キースイッチは規定方向で操作し、逆方向への回転操作は行わないこと。
- ・他社製品の影響により発生した不具合については保証対象外とする。
- ・定期的に動作確認および外観(破損・防水状態等)の点検を実施すること。

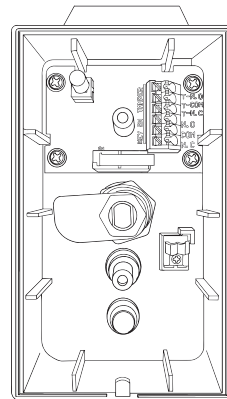
製品仕様

設置場所	屋内/屋外 防滴構造 (IPX4 相当) ※防滴性能は施工状態および設置環境に依存する	
周囲環境	-10~60℃ (但し結露、氷結なきこと)	
解錠用キー	ディンプルキー仕様 (同梱数 3本)	
鍵の抜き差し	1箇所 (鍵が水平位置、接点出力 OFF : N.C/COM)	
外側蓋	コイン式で開閉	
端子台	接点出力	無電圧接点出力 N.C・COM・N.O (鍵が垂直位置 : ON) (ON 時メイク : N.O/COM)
		接点定格 : 3A AC125V (抵抗負荷)
	タンパー出力	無電圧接点出力 N.C・COM・N.O (外れ時メイク : T-N.O/T-COM) 接点定格 : 30VDC / 100mA (抵抗負荷)
寸法	H124 × W74 × D42 mm ※ゴムパッキンを含む	
重量	218 g	

【接点定格についての注意事項】

- ・本製品は無電圧接点のため、接点定格の範囲内で使用してください
- ・DC回路で使用する場合は、接続する機器の仕様(電圧・電流)を確認のうえ使用してください
- ・本製品は、当社電磁錠(DC12V/DC24V仕様)との組み合わせでの使用を想定しています
- ・電磁錠などのコイル負荷を接続する場合は、ダイオード等による逆起電力対策を必ず行ってください
- ・ダイオードは本製品には同梱されておりません
- ・当社製の電磁錠には付属または内蔵されている機種があります
詳細は各機器の仕様をご確認ください
- ・ダイオードを接続しない場合、接点の劣化や故障の原因となることがあります
- ・接点が溶着した場合、回路が切れず、緊急時に電磁錠を解錠できなくなるおそれがあります
また、接点不良や回路異常により、意図せず電磁錠が解錠状態となるおそれがあります
- ・AC100Vなどの電源回路には使用しないでください

端子仕様

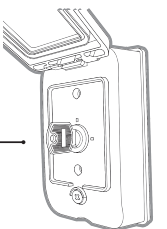


タンパースイッチ接点出力 表記 : TAMPER SW		
No	端子名	無電圧接点出力 N.C・COM・N.O
(1)	T-N.O	(タンパースイッチ外れ時 : ON)
(2)	T-COM	(ON時メイク : N.O/COM)
(3)	T-N.C	

キースイッチ接点出力 表記 : KEY SW		
No	端子名	無電圧接点出力 N.C・COM・N.O
(4)	N.O	(鍵が垂直位置 : ON)
(5)	COM	(ON時メイク : N.O/COM)
(6)	N.C	

解錠用キーについて

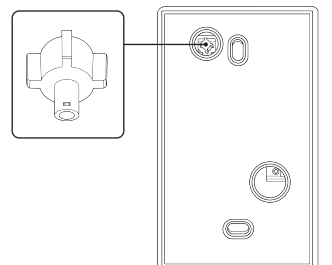
解錠用キーは、鍵を水平に挿入し、左方向へ90°回転させて操作します。
 鍵は回転した位置で保持され、その状態では抜くことができません。
 鍵は元の位置(水平位置)に戻すことで抜くことができます。



(鍵が垂直位置 : ON)
(ON時メイク : N.O/COM)

タンパースイッチについて

タンパースイッチとは、こじ開けなどにより本体が取り外された際に接点を出力する機能です。
 設置面に固定された状態では、タンパースイッチが押される構造になっています。
 裏面のゴムパッキンを使用しない場合は、高さ調整のためタンパースイッチ先端部(2段構造)を取り外すことができます。
 高さ調整用部品は、出荷時に本体へ装着されています。



施工条件・注意事項について

【取付条件】

- 背面ベースプレートおよびゴムスペーサーを取付面に固定し、本体をねじ止めすること。
- 設置面は平坦面を原則とし、不陸がある場合は取付板等で調整すること。
- 凹凸面に設置する場合はゴムスペーサーを取り外し、コーキング処理を施すこと。
- ゴムスペーサーを取り外した場合は、タンパースイッチ高さ調整用部品も取り外すこと。
- タンパースイッチが確実に押下される位置に設置すること。
- 使用するねじは下地材に適合するものを選定し、十分な強度が確保された箇所に設置すること。
- 背面ベースプレート固定時は、締め過ぎによる破損が生じないように注意すること。

【防水性能】

- 本製品はゴムパッキン装着により浸水を抑制する構造 (IPX4相当) である。
- 防水性能は施工状態および設置環境に依存するため、性能を保証するものではない。
- 屋外設置時は、設置環境に応じて、上部および左右三方向にコーキング処理を施すこと。
- コーキング処理は、配線通線部および取付面との隙間が生じないように確実に施工すること。
- 防水パッキンが密着していない場合や、コーキング処理が不十分な場合、浸水の原因となる。
- 雨水や結露の影響が想定される場合は、防水ボックス等の併用を検討すること。

【配線条件】

- 配線は背面通線口または下部ノックアウトから引き込むこと。
- 露出配管の場合はスイッチボックスを使用するか、本体下部を加工して配線すること。
- ノックアウト加工時は、本体が破損しないよう注意すること。
- 配線は内部可動部 (カム、マイクロスイッチ等) に接触しないよう、ケーブルクリップ等で固定すること。

【作業時の注意】

- 作業前に人体の静電気を放電したうえで作業を行うこと。
- 配線作業は必ず接続先機器の電源を遮断した状態で行うこと。
- 通電状態での接続および取り外しは行わないこと。
- 端子台への配線接続時は、基板を過度に押さえないこと。
- 筐体は樹脂製のため、施工時に傷や破損が生じないように十分注意すること。

外蓋について

外蓋はマイナスドライバーまたはコインにより開閉します。

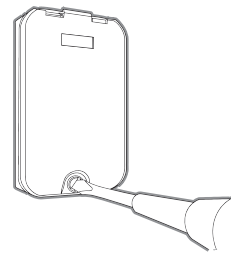
右方向へ90°回転でロック解除、左方向へ90°回転でロックします。

ロック時は、蓋裏面の防水パッキンを密着させるため、蓋を押さえた状態で施錠してください。操作終了後は鍵を抜き、必ず外蓋を閉じてください。

鍵を差し込んだままの放置、または蓋を開けたままでの運用は行わないでください。

※解錠用キーの先端を使用する場合は、先端が摩耗する可能性があるため、非常時のみの操作としてください。

注意: 鍵を差し込んだまま放置したり、蓋を開けたまま運用したりすると、製品の故障の原因となります。

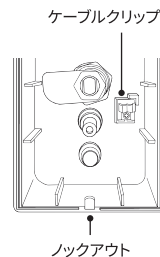


取り付け方法について

以下の手順により取り付けを行います。

「設置条件および設置上の注意」、「使用上の注意」、「施工条件・注意事項について」を事前にご確認のうえ、作業を行ってください。

- 本体から背面ベースプレートを取り外します。本体正面のネジ2点で固定されています。
- ゴムパッキンと背面ベースプレートを密着させた状態で、設置面に固定してください。(防水性能確保のため、隙間が生じないように確実に密着させてください)
- 背面または下部のノックアウトから配線を通します。配線は内部可動部に接触しないよう、ケーブルクリップで固定してください。ケーブルクリップは、本体に装着されています(右図参照)
- 配線を端子台へ接続後、本体を背面ベースプレートに固定します。タンパースイッチを使用する場合は、確実に押下されることを確認してください。本体固定後は、ネジ穴部分をネジ穴隠し部品でふさいでください。非常解錠用機器のため、施工後は必ず動作確認を行ってください。



配線図 (LK-8000接続時)

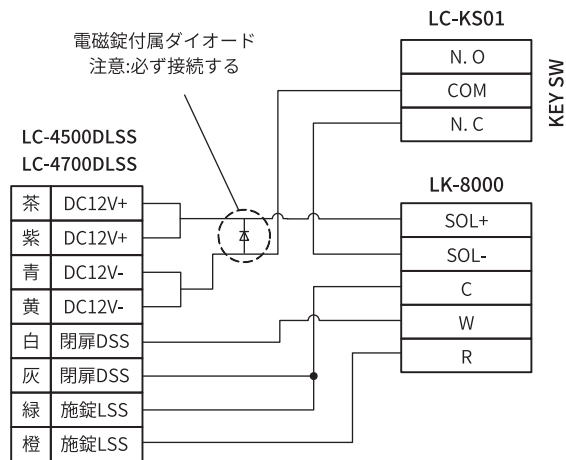
当社制御盤「LK-8000」に接続する場合の配線図です。

配線例として、LC-4500DLSS/LC-4700DLSS/LC-4500FSの接続図を示します。

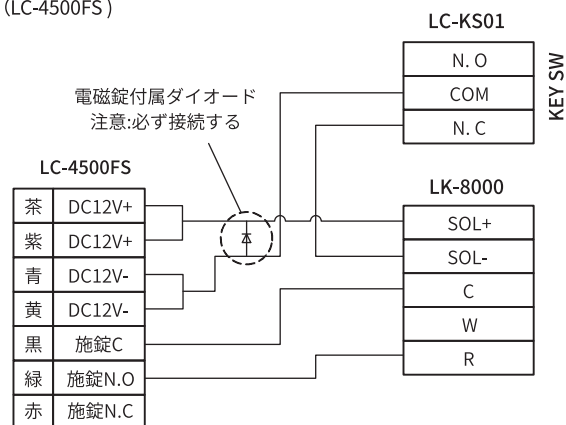
本回路は、緊急解錠を目的として、電磁錠の電源を直接遮断する構成となっています。

そのため、本製品に不具合が発生した場合、電磁錠が解錠状態となる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

- LK-8000接続時 (LC-4500DLSS / LC-4700DLSS)



- LK-8000接続時 (LC-4500FS)



配線図 (LK-2200接続時)

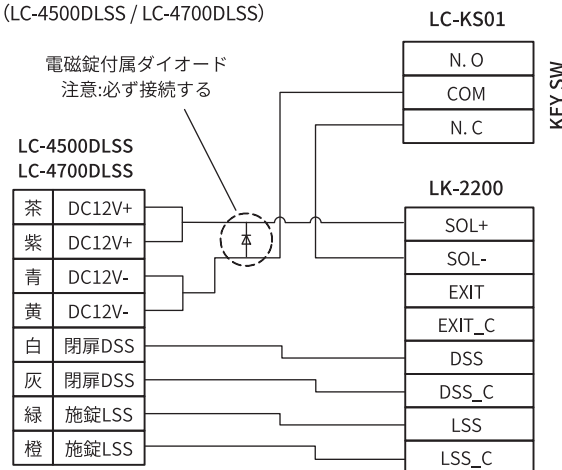
当社制御盤「LK-2200」に接続する場合の配線図です。

配線例として、LC-4500DLSS/LC-4700DLSS/LC-4500FSの接続図を示します。

本回路は、緊急解錠を目的として、電磁錠の電源を直接遮断する構成となっています。

そのため、本製品に不具合が発生した場合、電磁錠が解錠状態となる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

- LK-2200接続時 (LC-4500DLSS / LC-4700DLSS)



- LK-2200接続時 (LC-4500FS)

